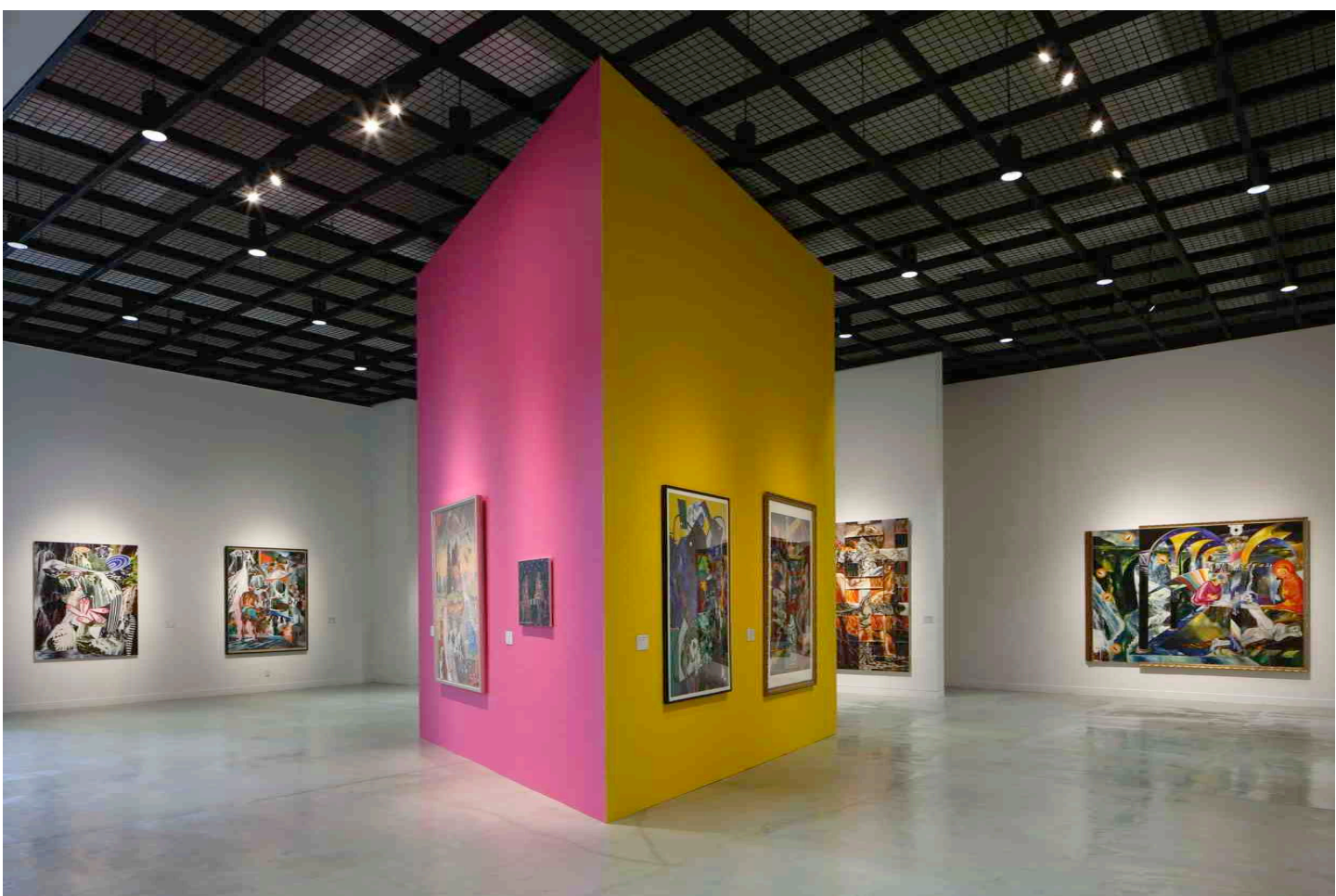


TADANORI YOKOO

ART OF INSPIRATION 横尾忠則 | 迷画感応術

2016.3.19 Sat. - 8.28 Sun.

会場：彫刻の森美術館 本館ギャラリー



展示風景
撮影：木奥恵三

横尾忠則の様々な芸術家を主題とする作品を集めた展覧会です。独学で絵画を習得した横尾芸術の本質は、5歳の時に模写した「講談社の絵本」の宮本武蔵の絵に始まり、多様なイメージを取り込む現在に至るまで、“引用”にあると言えます。特にパブロ・ピカソには、1980年にニューヨーク近代美術館で大回顧展を見たことがきっかけとなり、絵画を制作することを決意したというほどの影響を受けました。美術館の入口をくぐる際にはグラフィックデザイナーであった横尾は、2時間後の出口に立った時には“画家”になっていたと言われています。作品を通して、ピカソという一人の人間の生き方に深く感動したのです。

本展では、芸術家たちへの敬愛とエスプリに満ちた作品を公開し、時空を超えて広がるヨコオのアート・コスモスを紹介します。作品の主題となっている作家は、ピカソやデュシャン、デ・キリコ、ピカビアなど。世紀の芸術家や名画を前に心を開き、迷い戯れ、時には批評する様子から、横尾の絵を描く歓びや信念が伝わってくるでしょう。巨匠たちとの交感を通して横尾芸術の核心に迫ることを目指し、さらに美術史を知ることの楽しさを提供します。

また、市販の車をアートカーとして制作し、展示しています。JR加古川線のラッピング電車に続く、“走るアート”の登場です。

■ 展覧会情報

- 【展覧会名】 横尾忠則 迷画感応術
- 【会 期】 2016年3月19日（土）～8月28日（日）
- 【会 場】 彫刻の森美術館 本館ギャラリー（〒250-0493 神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平1121）
- 【開館時間】 9：00～17：00（入館は閉館の30分前まで）
- 【休 館 日】 なし（年中無休）
- 【入 館 料】 大人1,600円／大・高校生1,200円／中・小学生800円
- 【交通手段】 箱根登山鉄道「彫刻の森」駅下車、徒歩2分
- 【主 催】 彫刻の森美術館（公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団）
- 【後 援】 箱根町 / 箱根町教育委員会 / フジサンケイグループ
- 【特別協賛】 メルセデス・ベンツ日本株式会社
- 【協 賛】 オーエスジー株式会社
- 【出品点数】 絵画42点（陶板1点、テクナメーション1点含む）、彫刻2点、アートカー1点

■ 開催イベント

現在調整中。決定後、当館ホームページ等でお知らせいたします。

■ 横尾忠則 Tadanori Yokoo 【略歴】



撮影：松元絵里子

1936年、兵庫県西脇市に生まれる。1960年代からグラフィックデザイナーとして、日本の前衛シーンやポップ・シーンを代表する存在として活躍。1972年にニューヨーク近代美術館で個展を開催。1981年に画家宣言を行い、画家に転向し、日本の大衆社会の中で絵画を独自の形で展開してきた。近年の主な個展に、カルティエ財団現代美術館（2006）、世田谷美術館／兵庫県立美術館（2008）、金沢21世紀美術館（2009）、青森県立美術館（2013）、霧島アートの森（2014）がある。2012年に横尾忠則現代美術館、2013年には豊島横尾館が開館し、横尾芸術の全貌を見直す機会を提供している。2015年、第27回高松宮殿下記念世界文化賞絵画部門を受賞。作風やモチーフを変えつつ「死と生」の視点から、今も質量ともに圧倒的な作品を作り続けている。

■【彫刻の森美術館と箱根を主題とした新作《At Box Roots》】



《At Box Roots》 2016年
キャンバスに油彩
彫刻の森美術館蔵 撮影：木奥恵三

作品に描かれている美術館内の建物と作品



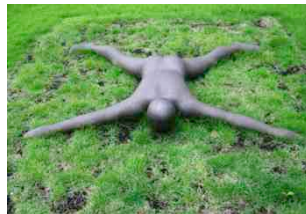
ピカソ館とフェルナン・レジェ 《歩く花》



イゴール・ミトライ 《眠れる頭像》



イヴ・クライン
《人体レリーフ (マルシャル・レイス) -PR2》



アントニー・ゴームリー 《密着》



三木富雄 《耳 1, 2, 3》



ジャン・デュビュッフェ 《使者たち》



ジョエル・シャピロ 《無題》

作品に描かれている箱根

芦ノ湖、遊覧船、大涌谷、箱根ロープウェイ、箱根の山々、Y字路（三叉路／複数のイメージを組み合わせています）

■【smart がアート作品に。 横尾忠則による “走るアート”が登場！】

《CAR-leidoscope》



《CAR-leidoscope》2016年
スマート フォーフォー、フィルム
特別協賛：メルセデス・ベンツ日本株式会社
撮影：木奥恵三

横尾忠則の数々の絵画を生み出した、紙皿を使った絵画パレット。1枚のパレットからひとつの作品が創出される。一見、抽象絵画を思わせるパレットは、横尾の作品と表裏一体だ。

横尾は直感的に位置を決めて絵具を絞り出し、色を混ぜ合わせる。それは肉体が無意識に作り上げる色と形であり、美学的な意識は介在しない。直感と理性のバランスをとりながら制作する絵画ではなく、“感応するアート”であろう。

横尾は、パレットを“作品”と捉えていて、数十年間におよぶ創作活動で使った数百点分を大切に保管している。展覧会ではこのパレット自体も展示する。

今回はそのパレットを用いた集大成であり、自動車をベースにした初めての作品だ。膨大な数のパレットに出会うことで、見る者はこれから生まれる無数の物語を見出すだろう。“走るアート”の登場である。



《CAR-leidoscope》のデザインのもとになった絵画パレット

アートカー お披露目

3月4日（金）、絵画パレットから生まれた横尾氏デザインによるsmartアートカー《CAR-leidoscope》のプレス発表レセプションが、東京六本木のメルセデス・ベンツ コネクションにて開催されました。

レセプションには、森英恵館長や特別協賛のメルセデス・ベンツ日本の上野金太郎社長、横尾氏のご挨拶もあり、200人を超える出席者に見守られながら、横尾氏は完成したばかりのアートカーにサインを入れました。

アートカーは、メルセデス・ベンツ コネクションに3月7日（月）から3月13日（日）まで展示された後、8月28日（日）まで彫刻の森美術館で展示されます。



左より上野社長、横尾氏、森館長



アートカーにサインをする横尾氏



アートカーの前で撮影

■ 主な出品作品

【主題となっている作家 1】

パブロ・ピカソ



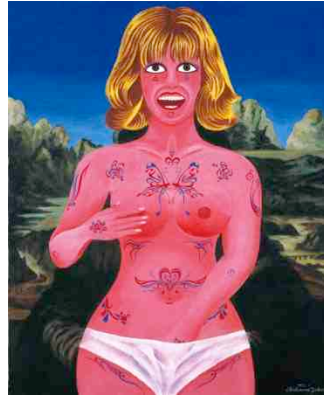
《交感神経と副交感神経の結婚》 1991年
キャンヴァスにアクリル
星野眞朋氏蔵



《芸術の浄化》 1990年
キャンヴァスに油彩
徳島県立近代美術館蔵

【主題となっている作家 2】

レオナルド・ダ・ヴィンチ



《モナリザとタトゥー》 2003年
キャンヴァスにアクリル
個人蔵（横尾忠則現代美術館寄託）

【主題となっている作家 3】

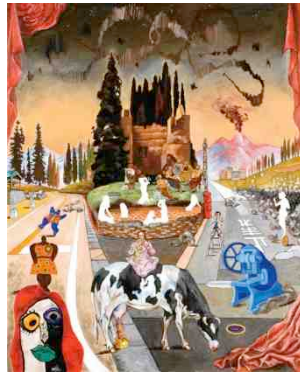
フラ・アンジェリコ



《受胎された靈感》 1991年
キャンヴァスにアクリル、布、紙、木枠
兵庫県立美術館蔵

【主題となっている作家 4】

ニキ・ド・サン・ファール



《文明と文化の衝突》 2007年
キャンヴァスに油彩
個人蔵

【主題となっている作家 5】

ジャン=オーギュスト=ドミニク・アングル



《谷間の泉》 1986年
セラミックに釉薬
大塚オーミ陶業株式会社+作家蔵

【主題となっている作家 6】

マルセル・デュシャン



《デュシャンピアン》 2010-2013年
キャンヴァスに油彩
作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）

【出品作品の中で主題となっている作家】

パブロ・ピカソ / マルセル・デュシャン
ジョルジョ・デ・キリコ / フランシス・ピカビア
レオナルド・ダ・ヴィンチ / フラ・アンジェリコ
ペーテル・パウル・ルーベンス / ニキ・ド・サン・ファール
ジャン=オーギュスト=ドミニク・アングル
ディエゴ・ベラスケス / ジャン=フランソワ・ミレー
アーノルド・ベックリン / アンリ・ルソー
ポール・デルヴォー / ルネ・マグリット
フェデリコ・フェリーニ
その他

■ 出品作品リスト

	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
1-14	交叉の泉 : ドローイング 1 ~ 14	2002年	紙にアクリル、鉛筆、コンテ	作家蔵
15	実験報告	1996年	キャンヴァスに油彩	東京都現代美術館
16	Experimental Report	2008年	ポリウレタン樹脂、FRP、その他	作家蔵
17	CAR - leidoscope	2016年	スマート フォーフォー、フィルム	特別協賛：メルセデス・ベンツ日本株式会社
18	谷間の泉	1986年	セラミックに釉薬	大塚オーミ陶業株式会社 + 作家蔵
19	GEOCHEMISTRY	1986年	ミクストメディア	作家蔵
20	月光の街 I	2003年	キャンヴァスに油彩	作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）
21	月光の街 II	2003年	キャンヴァスに油彩	作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）
22	月光の街 III	2003年	キャンヴァスに油彩	作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）
23	金環蝕	2012年	キャンヴァスに油彩、コラージュ	作家蔵
24	モナリザとタトゥー	2003年	キャンヴァスにアクリル	個人蔵（横尾忠則現代美術館寄託）
25	あなたは善意の人ですか？	1988年	キャンヴァスに油彩、布	作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）
26	受胎された靈感	1991年	キャンヴァスにアクリル、布、紙、木枠	兵庫県立美術館
27	三つの十字架	1991年	アクリル、木、テクナメーション	横尾忠則現代美術館
28	解かれた第七の封印 — 画家の誕生	1991年	キャンヴァスにアクリル、毛皮、ベル、金属、鏡、ラバー、木枠	セゾン現代美術館
29	薔薇の蕾と薔薇の関係	1988年	キャンヴァスに油彩、布	作家蔵（広島市現代美術館寄託）
30	農道時間	2009 - 2013年	ダンボールに油彩、スプレー塗料	作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）
31	想い出劇場	2007年	キャンヴァスにアクリル、グワッシュ	西村画廊
32	美の盗賊	2008年	キャンヴァスに油彩	作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）
33	交感神経と副交感神経の結婚	1991年	キャンヴァスにアクリル	星野眞朋氏
34	芸術の浄化	1990年	キャンヴァスに油彩	徳島県立近代美術館
35	夜の会合	1997年	キャンヴァスにアクリル、油彩	川崎市岡本太郎美術館
36	At Box Roots	2016年	キャンヴァスに油彩	彫刻の森美術館
37	ライオンと緑の月	1996年	キャンヴァスにアクリル	作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）
38	眠れるジプシー	1967年	キャンヴァスにアクリル	姫路市立美術館
39	フットボールをする人々	1967年	キャンヴァスにアクリル	姫路市立美術館
40	ピカビア — その愛と誠実 II	1989年	紙にシルクスクリーン	作家蔵
41	キリコ — その永遠性	1990年	紙にシルクスクリーン	作家蔵
42	集合と分散 — その力の働き	1991年	キャンヴァスにアクリル、金箔	作家蔵（東京都現代美術館寄託）
43	文明と文化の衝突	2007年	キャンヴァスに油彩	個人蔵
44	死の島 / ベックリンに基づく	2012年	キャンヴァスにアクリル	作家蔵
45	デュシャンピアン	2010 - 2013年	キャンヴァスに油彩	作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）

参考写真

	作家名/作品名	制作年		
	交叉の泉	2002年	写真による展示	写真提供: 株式会社 ヨコオズ・サーカス
	デイヴィッド・ダグラス・ダンカン パブロ・ピカソ ドキュメント写真		オリジナルプリント	